

#毎日の暮らしは市政につながっている!

あさのえくこ

は、市民の代理人として全力を尽くします!



だれもが毎日どこかで「助けること」「助けられること」があって生きています。

東日本大震災、そして今年のコロナウイルス、私は改めてそのことを感じています。

たくさんの魅力があるつくばだからこそ、未来のつくばを作る次の世代が生き生きと育つまちであってほしい。

子どもにも大人にもホッとできる場所があってまわりが暖かく見守っている。

そんなつくばを作っていきたい!



大好きな子どもたちへの
読み聞かせ。専門書店での
選書も大好きな時間です。



時には近郊農家で援農
しています。



市民の声をきくアンケート
は活動の第一歩!



3.11以降、事務所備え付け
の機器で放射線量を測定
しています。



「子どもの居場所」として
始めたプレイパーク活動
は、実は「大人の居場所」
にもなっています。



つくば市議会議員
北口ひとみ

あさのえくこさんについて

「まずは自分もやってみる!」

相手の状況に自分を置き換え、その苦しさや不都合なことを「自分ごと」として感じ取ろうとするあさのえくこさん。「自然育児の会」の代表、PTA会長など様々な場面でリーダーとして慕われてきたあさのえくこさん。

議員としての素質、行動力を併せ持つあさのえくこさんです!



つくば市議会議員
宇野 信子

あさのえくこさんは「おかしいことはおかしいと言う人」です。長いものに巻かれず、おかしいと思ったら一人でも声を挙げます。常に市民感覚を持ち、ぶれることがありません。その上で、市民と共に行政とねばり強く話し合い、建設的な解決方法を見つける根気強さを持っているあさのえくこさんです。

あさのえくこです。



ご意見お待ち
しています！

まっすぐに！

あきらめず

ひたすらに！



◆生まれる前、保育園・幼稚園、学校、放課後、家庭。それぞれ場を見守る大人たちがつながり、一人ひとりが見守られ、こどもたちの笑い声がひびくつくばに！

◆だれにも訪れる高齢・障がい・病気など、一人ひとりと違う「困りごと」を一緒に考え、誰もが自分らしく暮らせるつくばに！

◆公開される情報がわかりやすく伝えられ、もっと市民の意見が形になるつくばに！

あさのえくこは
住んでよかったと思える
つくばをつくりたい！

あさのえくこのプロフィール

1961年 富山県生まれ
1980年 富山県立富山高等学校卒業
1984年 東京外国語大学卒業
学習塾教室長、高校講師、
オーガニック検査員など
2015年～ 甲状腺検診ボランティアリーダー
(関東子ども健康調査支援基金)
2017年 つくばdeプレイパークひろめ隊立ち上げ
(2020年6月まで共同代表)
2018～2020年 つくば市子ども子育て会議委員
(市民公募)
2018～2019年 つくば市放課後子供教室
コーディネイター
2019年 吾妻小学校PTA会長
現在：つくば・市民ネットワーク運営委員
家族：夫、子ども一人と吾妻在住
趣味：ライアー演奏、読書

「つくば・市民ネットワーク」って？

つくば・市民ネットワークでは市民と議員がともに活動しています。議員を「議会で発言する代弁者」と位置付け、「代理人」と呼んでいます。議員報酬の約半分を法に則り寄付し、調査・学習等の市民活動に使い、市政に関心を持つ人・参加する人を増やします。そのために議員は交代していきます。



つくば・市民ネットワークの3つのルール

- 1 議員は原則2期・最長3期で交代
市民ネットの議員（代理人）は原則2期・最長3期で交代し、職業化・特権化しません。市政への参加の層を広げます。任期を終えた代理人は地域の活動にその経験を生かします。
- 2 議員報酬は市民の活動費
市民ネットの活動はカンパで支えられています。議員も議員報酬の約半分を寄附し、調査・研究・学習など市民の活動費に使います。お金の流れは公開し、政治資金の透明化を図っています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで
選挙は政治参加の入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出しあって選挙を行います。

つくばの未来を いっしょにつくろう！

- 情報公開と市民参加
- 安心して暮らせるまち
- 安心・安全な食と農
- 循環型社会をつくる
- 子育て支援・教育の充実
- 原発のない社会づくり
- 福祉の充実
- 憲法の三原則を守る